

# 主日礼拝

2021年1月3日  
午前10時30分

**前奏** 「目覚めよと呼ぶ声が聞こえ」  
(J.S.バッハ)

**参集** (報告・紹介・予定)

## 招詞

「だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。」

(第2コリト 5:17)

**リタニー** 「神さま、この一年も」

司式者：神さま、新しい年がはじまりました。

会衆：この年を、ありがとうございます。

司式者：2021年の、365日を、

会衆：イエスさま、どうぞ一緒にいてください。

司式者：神さま、あなたこそ、時を支配される方、

会衆：時間を超えるいのちの源です。

司式者：恵みの年のはじめに、

夢と希望をあたえてください。

会衆：一年間、育てていける

願いと計画を持たせてください。

司式者：一日一日、大切に生きている人たちを、

あなたは、心にかけてくださいます。

**一同**：神さま、この一年も、  
わたしたちを守ってください。アーメン。

## 祈祷

## 献金

献金箱が受付に置いてありますので、礼拝前にお献げください。

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、

ねがわくは み名をあげさせたまえ。

み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく

地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出されたまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 聖書 マタイによる福音書 7：7～14

新約(新共同訳) P11~P12

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。あなたがたのだれが、パンを欲しがる自分の子供に、石を与えるだろうか。魚を欲しがるのに、蛇を与えるだろうか。このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして、あなたがたの天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない。だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者である。」

「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。」

## 賛美 425-1・5・6「こすずめも、くじらも」

1. こすずめもくじらも  
5. りんじんとてきらの  
6. いつのよもおられ

そらのほしなもく  
へだいでのはかのみは

つくられたかたを  
かみらいあいでへい  
みらいのせだいの

たええうたう  
おいあきたるよにる  
び

# 証 袁 紅さん

## 賛美 510-1・3・4 「主よ、終わるまで」

O Jesus, I have promised  
詞：John E. Bode, 1816-1874

ANGEL'S STORY  
曲：Arthur H. Mann, 1850-1929

1 主よ、おわりまでしもべとして  
3 しずかにきよいみこえにより  
4 主はやくそくをかたくまもり、  
あなただにかえしたがいいます。  
おかたりにください、主よ、みことば。  
おわりの日までみちびかれる。  
世のたたかいははげしくても、  
こころのあらしふきあれても、  
わたしはここにちかいをたて、  
主がみかたならおそれはない。  
きかせてください、主よ、みこえを。  
主よ、おわりまでしたがいいます。

## 派遣

- 司式者 わたしたちの父であり母である神よ  
わたしたちは今ここに、この地球で生きて  
います。  
わたしたちを祝福してください。
- 会衆 あなたはわたしたちを世界に送り出されます。  
わたしたちを守ってください。
- 司式者 あなたはわたしたちに課題を与られます。  
あなたの御顔をわたしたちに輝かせてください。
- 会衆 わたしたちはしばしば過ちを犯します  
わたしたちに恵みを与えてください。
- 司式者 わたしたちはしばしば孤独を感じます。  
御顔をわたしたちに向けられますように。
- 会衆 わたしたちに、そしてわたしたちを通して  
世界に平安を与えてください。

## アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「ほめたたえよ、力強き主を」  
(W.ランフ)

司式 福原 之織  
証 袁 紅  
奏楽 玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。

※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。